

News letter vol.195

2014年8月25日：衣料繊維事業本部 ユニフォーム事業部 スクールユニフォーム部

「ウール大学」実学講演会を開催しました

繊維ファッション産学協議会主催の「ウール大学」が、5月28日(水)大阪会場(大織健保会館)、6月5日(木)東京会場(長井記念ホール)で昨年に引き続き開催実施しました。

目的は、ファッション業界の次世代クリエイター育成の為に、繊維ファッション産学協議会が取り組む人材育成事業「産学人材育成コラボレーション」の一環として、「ウール」をテーマとし、ニッケに対し全面的協力を要請され、実施したものです。

一般企業を含めファッション学校を中心とした受講希望者を募り、大阪・東京合わせ、302名に各会場へお越し頂きました。

繊維ファッション産学協議会事務局長は、「日本の伝統ある産地には高度な技術がある。それをいかに創造するかが、次世代クリエイターの役割。産地企業の協力で実学として体験するフォルムプレゼンテーションにも参加してほしい」と挨拶がありました。

今回の「ウール大学」では、前回同様ニッケの素材を取り上げ、第2弾として高度なテクニックで世界を魅了し、更に進化するジャパंकオリティー「ウールの神秘と可能性」をテーマに伝統、歴史から最新の技術を活かした基本的な知識から、新素材開発や加工技術、ウールならではの多様な用途などについて講座を開講しました。

講座1基礎編として「ウールについての基礎知識」、講座2応用編として「ウール素材の多様な広がり」と題し、講座1にニッケテキスタイルの河野、講座2にニット製品チーム濱崎が担当し開講しました。ウールについて20代、30代はウールの認知度が半分しかない現状を報告すると共に、ウールの持つ特性、原毛から織物までの一貫製造工程の説明、また、ウール素材の多様な用途などウールをもっと知って、興味をもって意欲を駆り立てられるよう前回講義内容に応用編を追加したかたちで講義しました。また、学生がニッケウール素材を使って作品を制作し、11月5～6日に開かれる「JFW-JC2015」で発表する「第8回フォルムプレゼンテーション」の概要をJFW側から説明を行いました。今回のテーマとして「アーバンミリタリー」を掲げており、制作はテーマにそって「ウール大学」で得た知識、興味などウールの特性を十分に実感、表現して作品制作に臨んでもらい、また、ウールの良さが十分に表現されている作品ができるよう、7月23日に産地見学会での工場見学、工房資料閲覧案内等実施しており、多くのニッケ素材の提供も実施しています。



[本件に関する問い合わせ先]
ニッケ 衣料繊維事業本部 ユニフォーム事業部
スクールユニフォーム部 スクール1課 ニット製品チーム
〒541-0048 大阪市中央区瓦町 3-3-10
Tel:06-6205-6662

ニッケグループ



う〜るん